

未来へ

【横瀬町合併50周年・町制施行20周年記念誌】

1955横瀬、芦ヶ久保両村合併・1984横瀬村から横瀬町へ

今、歩みはじめる時

清らかな水と豊かな緑のもと

母なる山「武甲山」のふもと

豊かな自然の恵みをいっぱい受けながら

産業・環境・教育・農業…

今こそ！ 新たな出発の“とき”

埼玉
県



横
瀬
町



今を生きる



記念誌であるけれど記念誌ではない。
今、我々は何をなすべきか。

歴史を糧に、未来を見つめ、今を生きる。

横瀬町の新たな出発点と考えてほしい。

未来ある子どもたちのために、
この横瀬町をどうしていくべきか。

住んでいる町民ひとりひとりが、
何をしていくべきか。

どのような行動を展開していくべきか。

この自然に恵まれた町を…！

横瀬町とともに、

我々も成長していきたい。

将来のまちづくりに夢と希望をつなぐため。

今こそ新たな出発のときです。

町民皆様の理解のもと、

新たなる決意を持つてのぞみたい…

平成17年2月

横瀬町長 加藤 嘉郎

INDEX

山は語る… ③

町民は語る…
今だから、横瀬町を語りたい ⑥

横瀬文化館 ⑪

横瀬今昔 ⑱

横瀬遊覧 ⑳

横瀬のシンボル「武甲山」

横瀬の人々、横瀬の空気、横瀬の水を

すべて知る山。

山は見ていた。町の移り変わりを。

これからも…。

山は語る…



山は語る



うらかな日ざしや、さわやかな風にホッと和む。2~3億年前、海の底であったここに、縄文時代から人々が住みはじめ、21世紀の今日まで…

……武甲山^{やま}は見ていた。

北半分を石灰岩で占め、中生代三畳紀の後期の地質で、武甲山特有のチチブイワザクラやブコウマメザクラ、ミヤマスカシユリなどが生育する山。

嶽から秩父ヶ嶽、武光山から妙見山、そして「武甲山」と名前も変遷したこの山は、地域のシンボルとして古くから「神の山」霊山としてあがめられてきた。

白い山頂のたたずまいは、独立峰ゆえに、四季折々、朝もや、朝焼、夕焼時の中腹にかかる雲、雷雲等を擁して、この地域にいち早く姿をみせる。夜は星明かり月明かりのもと、妖しいまで

の雄姿を現わす。さまざまな表情を見せる山、武甲山は遅かな時代から横瀬の人々の暮らしをずっと見守ってきたのだ。

縄文人たちがイノシシを追い鹿を追う狩猟生活をし、中世、武士の時代に丹党横瀬氏をはじめ、相次いで領主が交替する中、武甲山の信仰を基盤として観音霊場が生まれ、巡礼の姿が今へと続く。

里宮の神楽や芦ヶ久保の獅子舞、そして横瀬人形芝居と民俗芸能が育まれてきた。

農業、林業、そして、歴史のなかで培われてきた織物業、工業、商業。

これらの産業、そして織り娘たちや働く人々の生活を見守り続けてきた山…。

1937年 正丸線のバス開通

1955年 横瀬、芦ヶ久保両村の合併

1969年 鉄道が山麓を走り、芦ヶ久保、横瀬と二つの駅が生まれ、

1984年 村から町に

2004年 道の駅も誕生し、

今、横瀬町は観光、産業——よりよい人々の暮らしを求めて、

21世紀を——未来へ

大きくはばたこうとしています。

武甲山はこれからもずっと横瀬町、そして、人々を見守ってくれる——



今だから、横瀬町を語りたい！

今こそ始まり... 横瀬町に新しい風が吹く



横瀬町を考える会「横瀬町21世紀懇話会」の面々に町の観光について語っていただきました。

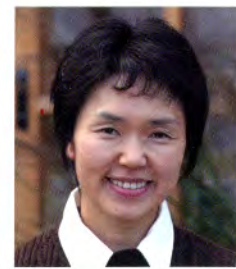
金子 先日の長野県小布施町への研修で感じたことは？

橋本(乙) 小布施町が色々やることには驚きましたが、特産品を使った町おこしがそっくり横瀬町に応用できるかといえば、違うかな、と思う。町がまとまって、きれいになっているのは良かった。

浦島 小布施の町は完成に近い感じでしたが、横瀬はまだこれから町の何かが見つければ。小布施町は昔ながらの特産の栗を使って展開していますが、そういうものが横瀬町にも必要。例えば、食品ではないけれど、苺の「棚田学校」



浅見 清治さん



島田 恭子さん



金子 真治さん

のように地区で特色になるようなものが芽生えてきているので、これが成長していけばいいなと思う。

島田 町をまとめるっていうのは、こじんまりがいいんだな、と感じました。今日、ちょうどこの道の駅から芦ヶ久保の日向山を見て、果樹公園で何かできればと。小布施にはリピーターが多いという話を聞いて、例えば、横瀬町に来た時に一年間のスケジュールが分かたりすれば、またその頃来てみようと思味を持ってくれるんじゃないかな。

新井 今、横瀬駅中心に宇根に向かっていく山道を整備する計画があるんです。140人くらいの会員が集まりました。「花の郷うね」。プランター等を買ったお金を会費にしています。足りない部分を行政に助けていただくとベストなんです(笑)。芦ヶ久保地区も駅を中心としてコースを作ったらいいんじゃないかな。横瀬町はそれぞれの地区で特色を出していければ良いと思うんですが。

浅見 特色といえば小布施町のよ

うな、オープンガーデンでもいいんじゃないかな。例えば横瀬駅～中郷～川東の方へぬける道など、色々なコースが作れるのでは。家の方が了解してくれば、通って、見て、自由に入って写真を撮ってもいいよっていう雰囲気づくりが大切だよ。ただ防犯上の問題や、住民の受け入れ方など課題はたくさんありますよ。

橋本(敏) 小布施の現地ガイドの女性にお世話になって感じたのが、オープンガーデンのことも含めて、陰の力、特に女性の力が大切なんだなと。色々説明してくれたり、おいしい食事をいただいたり。オープンな雰囲気がとても良かった。それから、最近外遊びをする子どもが少なくなってきているので、横瀬や芦ヶ久保は自然が多いから、子どもをターゲットに観光を展開したらどうか。そういった世代に、町の自然は癒しになると思う。

高梨 癒しといえば、駅から目的地までの道中で花が楽しめたりすると良いですね。道を楽しみ、目的地

●横瀬町21世紀懇話会

町の将来について、町長と町民が一緒になって考えていく会。「血の通った行政」がモットーの加藤町長と町民代表が意見を交わす。定期的にメンバーも入れ替わり、熱い討論が繰り広げられる。

を楽しみ、最後にお土産を買って、という1日通して観光を楽しめる環境ができればいいですね。横瀬町でそういうコースを作るとしたら...? 花や食だけでなく何か目的がないと1日楽しむには足りないし...。お土産も特色あるものを。

平沼 横瀬町は果樹公園村など資源はあるので、そういったものを表に出していく努力をしていければいいのでは。地元の財産を広げて観光客を呼び込むことができればいいですね。

金子 今、観光って、国際的なものは別として、文化遺産では人が来ないと思うんですよ。遺産的なものではなく、今、そこにいる人の地域文化を見に来るんじゃないのかな。横瀬町は、芦ヶ久保、宇根、苺米が今、3大ポイントだと思う。芦ヶ久保は電車で来て最初の入り口。宇根はムーミン谷のような風情で、苺米は棚田という文化が発展し、浸透してきています。さらにそこへ+αの観光を考えていきたいですね。



浦島 則之さん



橋本 敏代さん



村越 助役



加藤 町長



橋本 之伸さん



新井 貢さん



高梨 啓子さん



平沼 進さん

ボクらも参加! 横瀬未来図。

今だから、横瀬町を語りたい!



高橋 篤史君



富田 淳矢君

対談の後、皆さんが横瀬町の未来図を描いてくれました。
このページと12・13ページに掲載してありますので、ご覧ください。



浅見 茉那実さん



浅見 有香さん



高橋 篤史君



富田 淳矢君



一木 梨奈さん



若林 永樹君



小石川 慶太君

町長と、未来を担う小学生が意見を出し合う「子ども懇談会」。
子どもたちの純粋かつ柔軟な意見がまちづくりに反映されます。
テーマは「横瀬町 ここがいいよ! こうしたら?
~どんなまちにしたいですか~」



渡辺 歩さん



坂本 玲美さん



伊藤 直樹君



富田 麻菜美さん



平沼 貴礼君



浅見 早紀さん



赤岩 弘基君

町長 自分たちの学校のことで、これは自慢できるということがありますか?

富田 木造校舎。気持ちがとても落ち着きます。

伊藤 校庭が広いです。

浅見(甲) 芦小では、全校生徒の名前が覚えられ、みんなが協力できます。

浅見(庚) 遊具がたくさんあります。

町長 通学路で危険なところや、細い道とかあるかな?

坂本 外灯が少なくて暗いところがあります。

平沼 カーブミラーがないところ

があるのでそこにつけてほしいです。

小石川 歩道が狭いので広くしてほしいです。

町長 今、細い道でも通学路は舗装したり、危険な箇所は町でも直しています。今日は、見学会で町民会館と総合福祉センター、そして道の駅を見て来たけど感想を聞かせてください。

富田 道の駅のトイレの水が、再利用した水というのはよいことだと思います。

町長 道の駅の食堂にあるストーブを見ましたか?あれは、ペレット

ストーブといって、山の木が大きくなったらより良い木にするため、その周りの木を切ります。そういった木を燃やして使うストーブで、環境に配慮しているんですよ。

一木 町民会館は手すりが少ないのでもっと取り付けた方がいいと思いました。

浅見(有) 母子室をもう少し広くしてほしいです。

浅見(庚) 母子室があることは知られていないので、宣伝した方がいいと思います。

町長 横瀬町はしばらく合併しま

せんが、どうしたら町がよくなるか、またよその人に対して、どんなPRをしたら横瀬町を知ってもらえるか良いアイデアはないですか。

富田 商店街ができればよいのでは。

一木 ホームページで紹介したら。

平沼 道の駅の Mascot キャラクターを作ったらいいと思います。

町長 横瀬町のホームページに、町長へのEメールというのがあるので、みんなも利用してください。

他に町へのお願いはありますか。

平沼 雨が降ると校庭がぬかるので直してほしい。

赤岩 町民グラウンドに照明をつけて、夜も練習ができるようにしてほしいです。

坂本 木造校舎の階段にすべり止めなどをつけて安全にしてほしい。

若林 校庭のまわりに花をもっと植えた方がいいと思います。

高橋 深沢のバス停は、老人が立ってバスを待っているの、ベンチを置いてほしいです。

一木 緑を守るために、町民でごみ拾いなどをしたらどうかな。

小石川 総合福祉センターのお風呂は、老人がタダなので子ども

タダにしてほしいです。

渡辺 トンネルに落書きがしてあるので、しないように対策を考えてほしいです。

町長 今日いただいた意見を参考に、これからいい町にしていきたいと思っています。こういう機会だけではなく、どしどし意見を出してください。横瀬町は約1万人の人口で、これは、皆さんと密接に話しができる規模だと思います。皆さんの意見を聴きながらいい町にしていきたいです。

今日はありがとうございました。

今だから、横瀬町を語りたい！

横瀬50年、縁側で語る。



加藤町長

浅見 光さん(83歳)

渡辺 金太郎さん(79歳)

町長 50年前の合併当時のことで印象に残っている事はどんな事ですか。

浅見 合併当時、私は芦ヶ久保村の議員をやっていましたが、合併したら横瀬村に女性議員さんがいたんですよ。それが一番印象に残っているかな。合併後は「和で生かせ」とうたって続いたのが横瀬。振り返ると50年は長いですね。

町長 昭和59年には村から町になりましたが、その時のエピソードを聞かせてください。

渡辺 昭和58年に議決したんですよ。1年準備期間があり、庁舎も建設されました。町制施行の決め手は、人口が10,000人を越えたこと。それに郵便局、金融機関が横瀬にはあったから。若い人たちは「村から来た」と言われるより「町から来た」と言われたかったようだね。10月1日には待望の町制施行を迎えました。

浅見 横瀬の人口が増えたのは、西武鉄道や三菱セメントの誘致が大きいですね。最初、西武線乗

入れには秩父市と飯能市は反対したんですよ。でも横瀬が孤軍奮闘して頑張った。秩父市と飯能市に説得に行ったりしてね。実現するまでの苦労は相当なものでしたが、今の町の発展につながっています。

町長 今また、全国的な合併が進んでいる中、横瀬町は単独でいくと決めました。交付税減額など厳しい事はあると思いますが一。

浅見 昭和の大合併の時にも厳しい見解はありました。合併するのもいいと思うが、住民が嫌だというのだから、しないのがいい。なんとか頑張って、横瀬町が維持できればいい。

私はまちづくりには福祉環境の充実も大切だけれど、なんといっても今、一番重要なのは、雇用の促進なんじゃないかと思います。

渡辺 流行り物のように合併合



併と言われてますが、上から押し付けられるのではなく、合併したい町村がすればよいのでは。交付税減額などで今まで通りに出来ないのなら、必要なものでない限り、今ある物を有効に使っていけばいいと思います。

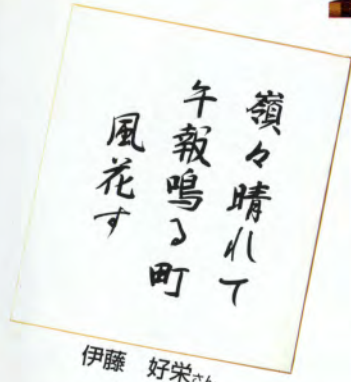
浅見 時代とともに交通も通信も便利になり、パソコンの普及で、戸籍など色々な手続きがインターネットで出来てしまう時代が来るでしょうね。役場に行かなくても済んでしまうな一。

町長 役場なんか必要ないと言われよう、税金をいかに有効に使うかを頭において町政を進めていきます。ありがとうございました。



木村 好一さん

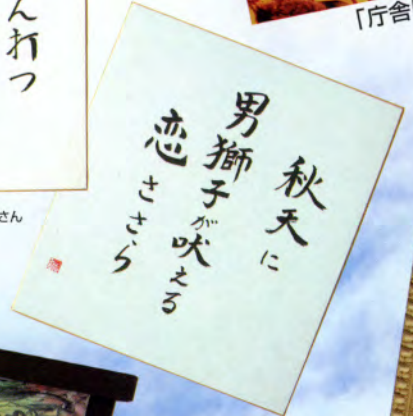
町民のひとの数だけ、横瀬町には技がある...。ひとりひとりの宝物を持ち寄れば、素敵な文化館が出来上がります。あなたのこころ技は、何ですか？



伊藤 好栄さん



高野 満次さん



関根 隆子さん



小川 壽女さん



「庁舎にのぼる彗星」撮影:平沼 健作さん



「無言」平沼 泉さん

横瀬文化館 YOKOZE CULTURE

横瀬人の手技・色技・こころ技





宿利原ひさ代さん



町田 正雄さん



中島 静子さん



伊藤 直樹君



一木 梨奈さん



坂本 玲美さん



若林 永樹君



赤岩 弘基君



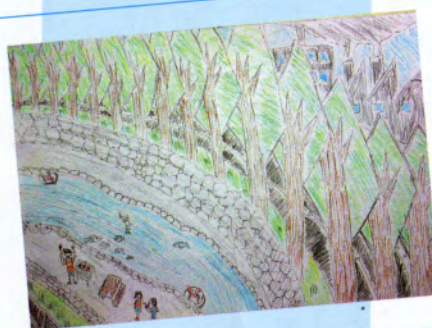
浅見菜那実さん



浅見 早紀さん



渡辺 歩さん



富田麻菜美さん



平沼 貴礼君



平沼 智子さん



町田 恒子さん



俳句

片翳る谷千仞の冬紅葉

加藤 竹紫

雨乞岩崩す発破や秋の雨

加藤 明義

撮影会冬のもみじへ人散りぬ

小沢 紫苑

笠雲を置く武甲嶺や冬に入る

辺見 まさ

野菊手に越える峠や昼の鶏

伊藤 好栄

袴着に脇差決めて孫雄々し

町田 宇女

舞台掛け伝統芸能秋まつり

加藤ヒサヨ

碁の友に電話しており縁小春

佐野 貞雄

散り紅葉風に乗り来し御製の碑

関口 麻治

冬紅葉に湯けむり絡む山の宿

荒船 梨花

宮の前草の実取り合う老夫婦

坂本美野流

峠路の静寂を破り熟柿落つ

新井 千鶴

地震つづく北国に雪来ると云う

福島 深雪

裏山の罫を知らずか鹿の声

高野 満次

散策や冬の紅葉へ歩を向けて

中津 比路

小豆干す庭に来る鳩又追いぬ

福島 紫仙

稲架に見る浅間の灰や朝の雨

登美 悠

休耕田コスモス祭回重ね

斉藤 紫光

秋冷に志功版画の墨匂う

横田 樞

孫達を迎えて狭き炬燵かな

香月 康子

川柳

台風の あとの青空 草の乱

関口 裕

燃えるよな 想いのせ咲く 彼岸花

香月 康子

秋雨を けとばしながら 走る虎

新井 喜作

新米と 安いサンマに 舌つつみ

大河原マツ

湯上がりに 妻が求める 絆創膏

浅見勝之助

あたためもの 美事忘れて 焦げつかせ

本橋寅之助

要る時は 無くて今頃 永い雨

小石川邦二

キノコ狩り やっと見つけた 毒キノコ

加藤 政則

孫の世話 終わりや爺婆 捨て駒だ

新井 恵岳





横瀬歴史

●先土器・縄文時代【紀元前】

- 1万3000年頃 秩父市下時田遺跡より旧石器出土。
- 1万年頃 横瀬町宇根遺跡(石槍、やじりなど出土)
- 2300年頃 横瀬町寺坂・明智遺跡(土器、やじり、石器類など出土)
- 500年頃 横瀬町花井遺跡(土器、石器類出土)

●古墳・飛鳥・奈良・平安時代

- 300年頃 景行天皇の皇子日本武尊、武甲山に武具を奉納したという。「横瀬」の地名起こると伝える。
- 400~600年頃 知々夫彦命が知々夫国造に定められる。
- 708年 秩父郡、朝廷に和銅を献上。
- 745年 秩父郡、平城京へ大賀鼓一斗を納める。
- 755年 秩父郡出身の防人、大伴部少歳の歌が万葉集に収められる。
- 933年 秩父郡が勅旨郡に定められる。
- 900年代末期 この頃までに武光の狂園成立される。

●鎌倉・室町・戦国時代

- 1193年 丹党と児玉党が争う。
- 1205年 秩父の有力武士、畠山重忠死す。
- 1200年代後半~ 秩父出身の武士、熊野信仰に傾倒する。
- 1340年 安保文書に「秩父郡内横瀬郷」の地名発見。
- 1488年 秩父礼所三十三カ所の番付される。
- 1568~1571年 秩父郡内に武田信玄の兵が侵入し各地で戦闘。
- 1572年 北条氏邦、鉢形城の攻城の一つ根古屋城へ朝見伊賀守らを派遣。
- 1589年 小田原城を始め鉢形城、根古屋城など豊臣勢の攻撃により落城。

●江戸時代

- 1620年頃 五人組制度ができる。
- 1655年頃 秩父郡全域の検地完了
- 1663年 秩父郡内で荒川東岸地帯が天領から忍藩領(阿部氏)となり、大宮郷-現在の秩父市-に代官所が置かれる。
- 1700年代初頭 郡内四カ所に六斎市(定期市)常設
- 1733年 芦ヶ久保、忍藩領から幕府領に上地される。
- 1760年 武甲山熊野神社主(守屋大隅)が忍藩の増税策に反対し越訴。
- 1764年 秩父礼所三十四カ所が江戸で総出開帳を行う。
- 1783年 天明の大飢饉
- 1832年 天保の大飢饉
- 1866年 秩父郡名栗村より始まった武州世直し大一揆が各地に波及。

●明治時代 ※()内は元号の年

- 1868(元)年 明治維新
- 1871(4)年 廃藩置県
- 1884(17)年 横瀬・芦ヶ久保両村で連合村をつくる。郡内の困窮農民が武装蜂起(秩父事件)
- 1888(21)年 芦ヶ久保村が分村。秩父銘仙、全国的に広まる。
- 1900(33)年 横瀬小学校新築開校
- 1903(36)年 芦ヶ久保小学校新築開校

●大正時代

- 1917(6)年 芦ヶ久保村役場芦ヶ久保小学校前に移転。
- 1921(10)年 横瀬村(旧横瀬村)電灯整備。織物工場(従業員10名以上)が13工場になる。
- 1922(11)年 和田河原の煙火最後となる。
- 1923(12)年 横瀬村役場庁舎建替(現町民会館所在地、昭和43年取りこわす)
- 1926(15)年 住民印鑑条例ができる。

●昭和時代

- 1937(12)年 正丸線バス開通
- 1945(20)年 芦ヶ久保村全地区に電灯整備
- 1947(22)年 カスリーン台風により横石津沢山津波が発生し大災害。
- 1948(23)年 横瀬小学校給食開始
- 1949(24)年 新制横瀬中学校新築開校(現在地)
- 1950(25)年 西善寺のコミネカエデ県天然記念物に指定。
- 1951(26)年 新制芦ヶ久保中学校新築(現芦ヶ久保小学校地) 武甲山石灰地特殊植物群落国天然記念物に指定。
- 1953(28)年 秩父用水完成
- 1954(29)年 横瀬中学校講堂完成
- 1955(30)年 横瀬・芦ヶ久保両村合併、新生横瀬村誕生。
- 1956(31)年 関の入水道工事完成 西武バス転落事故発生
- 1957(32)年 村内の94%が県立武甲自然公園地域に指定。
- 1958(33)年 横瀬橋永久橋完成
- 1959(34)年 保育所開設 語歌橋永久橋完成
- 1960(35)年 役場庁舎6区地内に完成 横瀬小学校3階建校舎完成 生川浄水場完成し、横瀬地内水道施設を整備。芦ヶ久保小学校体育館完成 横瀬農協有線放送事業開始 武光橋永久橋完成 城谷沢の井田跡に指定。
- 1961(36)年

- 1963(38)年 横瀬小学校体育館と横瀬中学校3階建校舎完成 芦ヶ久保製茶工場完成
- 1964(39)年 村道1号線(産業道路)完成
- 1965(40)年 和田河原橋(現下横瀬橋)永久橋完成
- 1967(42)年 芦ヶ久保小学校3階建校舎完成 入山分校が廃止。
- 1968(43)年 公民館完成 山口・中井両浄水場完成
- 1969(44)年 西武鉄道秩父線開通 芦ヶ久保橋完成 三菱セメント操業開始 村営住宅刈米団地完成 児童館開設 中学校統合 森下浄水場完成 芦ヶ久保果樹公園園地オープン
- 1971(46)年 「ふくさ人形」が国選択の無形文化財に。
- 1972(47)年 横瀬中学校体育館完成
- 1973(48)年 村民グラウンド完成 処花飲料水供給施設完成 横瀬小学校4階建校舎完成 村営住宅中司団地完成 清水橋永久橋完成 老人憲章碑を建立
- 1974(49)年 武甲山頂御嶽神社社殿移転 県営林道丸山線竣工式を県植樹祭と併せて行う。
- 1975(50)年 横瀬中学校特別教室完成
- 1976(51)年 横瀬村章制定 権現橋永久橋完成 横瀬中学校併設村民プールがオープン 第1回横瀬郷土祭開催
- 1977(52)年 給食センター、6区地内へ移転 姿見山浄水場完成 横瀬中学校新校舎完成 芦ヶ久保の獅子舞県無形民俗文化財に指定。
- 1978(53)年 大堀川改修工事完成 林道刈米線完成 野外活動施設「高原パーク横瀬」オープン 第1回ココセ音楽祭開催
- 1979(54)年 歴史民俗資料館オープン 正丸トンネル開通 新田橋永久橋完成 町制施行について9月定例会で議決 役場庁舎11区地内に完成、業務開始 町制施行により横瀬村から「横瀬町」に。町の花、町の木を指定
- 1980(55)年 赤谷トンネル開通 保育所4区地内に移設業務開始
- 1981(56)年 総合福祉センターオープン 林道北前線完成
- 1982(57)年 防災行政無線施設整備事業完成
- 1983(58)年
- 1984(59)年
- 1985(60)年
- 1986(61)年
- 1988(63)年

●平成時代

- 1989(元)年 町民憲章制定、町の鳥を指定
- 1990(2)年 町民会館「かわせみ会館」完成
- 1991(3)年 皇太子殿下ご来秩。本町ご視察される。社会福祉法人横瀬町社会福祉協議会設立。合耕地農道舗装新設工事完成
- 1992(4)年 都市公園ウオーターパーク・シラヤマオープン 横瀬小学校第3校舎大規模改修工事完成 町活性化センター完成、業務開始。
- 1993(5)年 芦ヶ久保小学校3階校舎大規模改修工事完成 第10回ココセ音楽祭開催
- 1994(6)年 後田土地改良事業竣工記念碑完成除幕式 農村公園オープン 横瀬大橋完成
- 1995(7)年 ココセ音楽祭の取り組みが認められ、「毎日・地方自治大賞」(毎日新聞社主催・自治省後援)で優秀賞を受賞。
- 1996(8)年 芦ヶ久保「山の花道」開園
- 1997(9)年 あしがくぼ農産物直売所オープン 学童保育開始
- 1998(10)年 下水道事業管渠築造工事に着手 町のホームページ開設 児童館新築オープン
- 1999(11)年 戸籍事務のコンピューター化がスタート 総合福祉センターがリニューアルオープン 在宅介護支援センター開設 道の駅「果樹公園あしがくぼ」オープン 横瀬町水質管理センターの建設に着手。合併の可否を問う住民投票を実施し、その結果を尊重して自立の道を選択する。
- 2000(12)年
- 2001(13)年
- 2002(14)年
- 2003(15)年
- 2004(16)年



昔も今も、
横瀬町には笑顔がある…。
ひととひとが出逢い、ひととひとが笑い、
思い出のアルバムが出来上がります。
ここにあなたはいませんか？





横瀬 今昔



時雨れる中枝打ら居れば雨水は懐までも徐徐に伝わる
赤岩 茂

収入役を退職したる舅御は「せせら」の指導に生涯を賭けし
赤岩 タネ

新しき世紀に生れし道の駅山峡の里に活気溢るる
赤岩 サワ

落ら込みし心を癒す明智寺すがしき庭に冬桜咲く
浅見 タミ

手入れ四年樹勢戻りしこみねかえで全国の大樹に名をつらねたり
阿左美正雄

休耕田は棚田学校の人々で武甲の峡に秋を突らす
阿左美富恵

七五三羽織袴の曾孫ははにかみにつつ満面の笑み
荒船シゲ子

里宮の神楽にて見る「稲作り」古代の生活細細と知る
及川 千代

山峡の里に若獅子暴れ舞う平成不況と追いかうかに
黒沢 京子

武甲山が好きと讃える絵描き人親しみ入れる自家製のお茶
小泉 悦子

霧雨にけむる山々眺めつつ秋風やわき湯帰りの道
小林すみ子

喜びも悲しき時も相入れる武甲嶺ありてこの町に生く
斎藤トシ子

雨晴れて朝霧しまく川原の中州に二羽の白鷺憩う
島田 あき

その昔、先人たちは武甲山麓に開けた横瀬の町を記録に残した。
信仰や祭りを。横瀬を成長させた養蚕・絹織物や農作業といった生業を。
そして、横瀬人の生きてきた道を。
色を変えた写真たちが横瀬を語る…

短歌

春は花秋は紅葉の美しき武甲温泉に湯けむりのぼる
田中二三江

寺坂の棚田の黒米名の立らて訪ね来る人日増しに多し
千島 エリ

朝に日に仰ぐ武甲山頼もしく国土の基を成すとおもえは
富田 恵夫

古代米刈り取られたる寺坂の棚田に秋の深まり早し
富田ヒデ子

麗しき文化と福祉行きわたり永久に栄えよわが故郷よ
新立 久枝

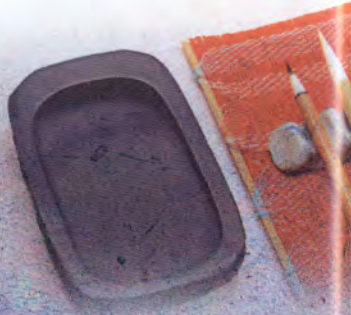
「花の寺」百選に入るこみねもみじ樹勢六百年なお盛るなり
町田 イヨ

取り入れも終えて枯れ葉の散る里に秩父夜祭り足早に来る
町田 延子

亡き父母が桑切り出せし道ヶ谷戸道の駅建ら賑わいを見す
町田八重子

雨止みしよこぜまつりに小躍りし孫を背にしてデカレンジャーを見る
町田 由江

吾が町の神を祀りし石灰山の白し年々に貌かけりて
若林 壮次

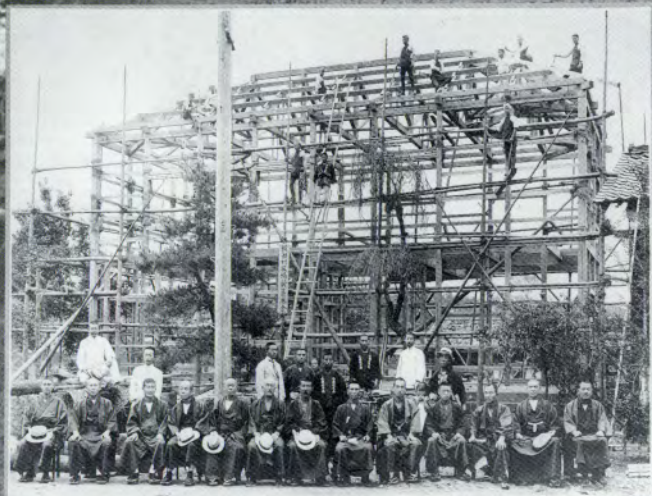


横瀬 今昔

渡ったことのない橋。見たことのない校舎…
 すっかり様変わりしてしまった里山の風景。
 目に見えなくても心に残っているもの…
 段々畑、人形芝居、続いてきた数々の伝統の中、
 変わらないのはいつもそこにある横瀬人の笑顔。
 いままでも、これからも。



和田河原橋渡り初め
 明治43年
 町田包治氏蔵



横瀬村役場庁舎上棟式
 大正12年 町田包治氏蔵



現在の横瀬町庁舎



動力織機を導入した織物工場
 昭和5年頃 坂本和禮氏蔵



横瀬小学校2階校舎上棟式
 昭和7年12月 町田包治氏蔵



里宮の神楽

横瀬人形芝居

宇根の春祭り

中郷の祭り(八坂神社の祭り)昭和13年頃 尾形恒雄氏蔵



宇根の祭り(八坂神社の祭礼)昭和36年4月3日 長島多助氏撮影

横瀬 今昔



町のイベントも時代とともに変化



サンフランシスコ講和条約記念村民体育祭、青年団のスクエアダンス
(横瀬小学校校庭)
昭和26年10月1日 守屋憲太郎氏蔵



言々久保の獅子舞

町の最高議決機関
現在の町議会



昭和49年 22名の議員によって構成された村議会



滝の枕でのスケート遊び(横瀬川)
昭和33年頃 町田豊氏撮影



現在の消防団



横瀬村消防組の点検・放水試験(和田河原にて) 明治時代 町田包治氏蔵



武甲山の杉の大木
33下目の大杉幹回り5.1m・34丁目の大杉4.6m・35丁目の大杉5.4mと約700年以上の樹齢と思われる3本の大木。



武甲山山頂の御嶽神社 大正12年頃
御嶽神社発行絵はがきより 守屋憲太郎氏蔵



現在の憩の場
農村公園



ウォーターパークシラヤマ

横瀬遊覧

横瀬にあるもの——

緑を揺らす風。

果樹たちの甘い香り。

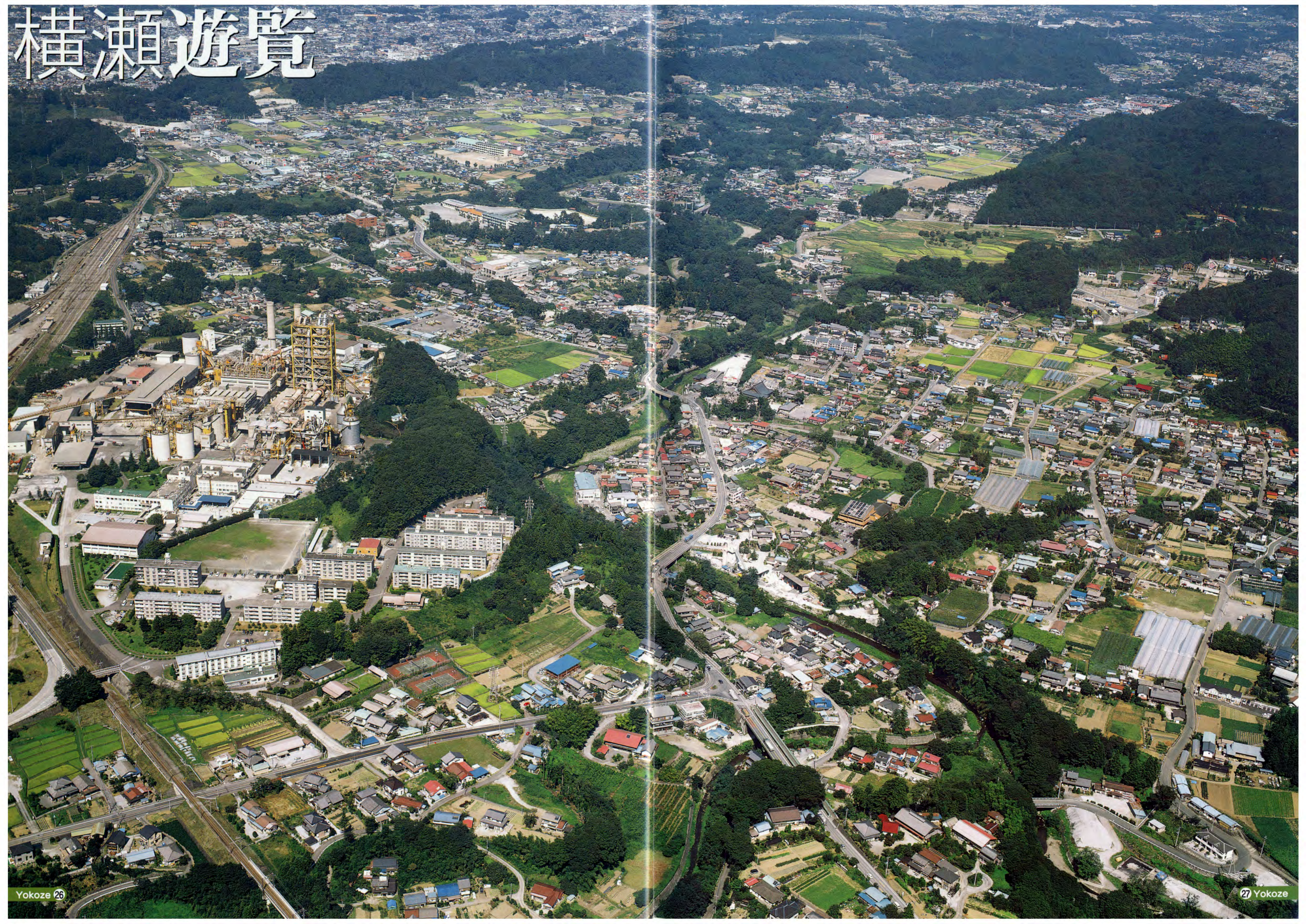
木々のぬくもり。

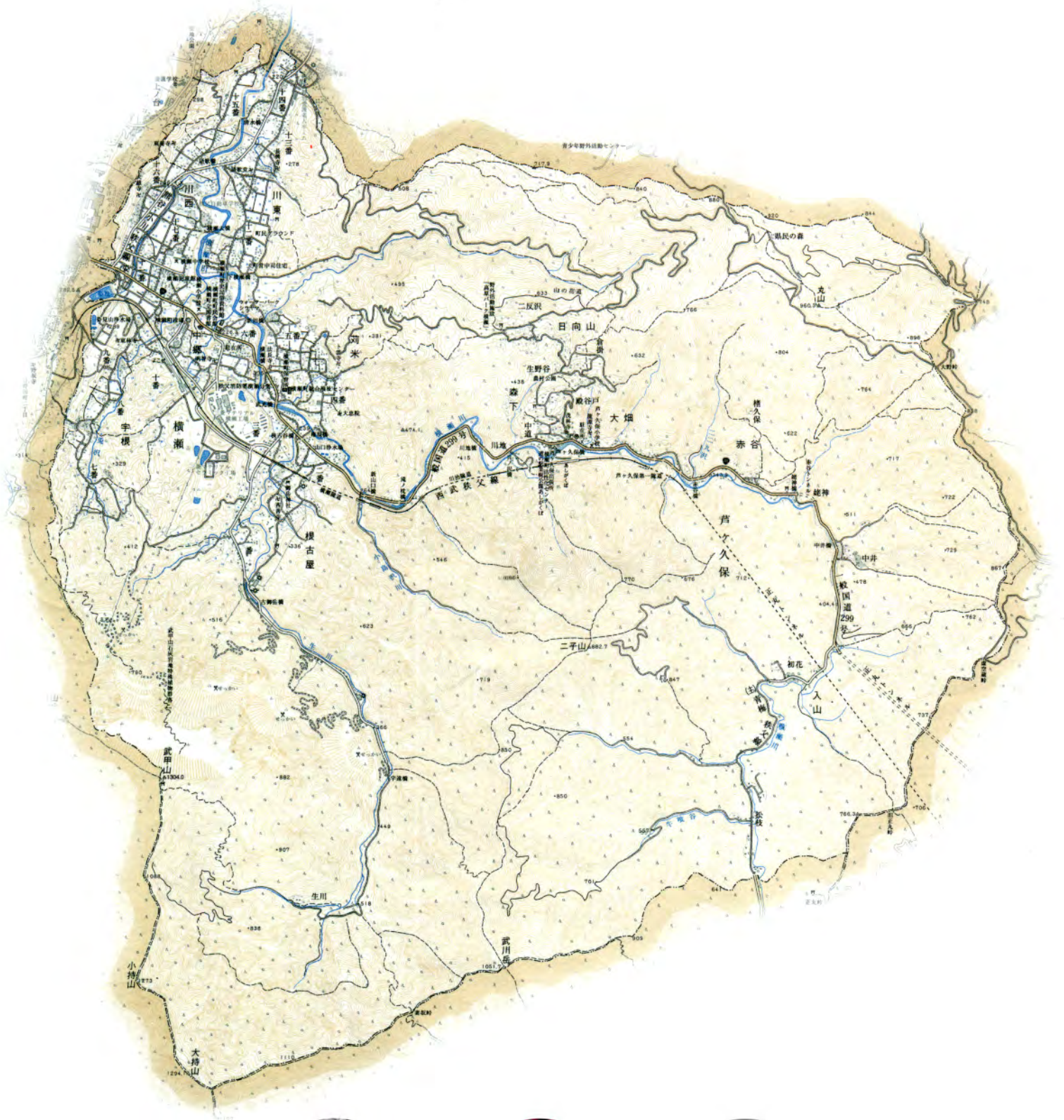
横瀬にあるもの——探してください。



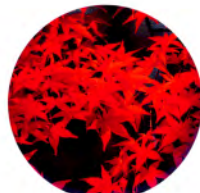
地域活性化の拠点 道の駅「果樹公園あしがくぼ」

横瀬遊覧





町の花 ■ ちちぶいわざくら



町の木 ■ もみじ



町の鳥 ■ カワセミ



横瀬町

【横瀬町合併50周年・町制施行20周年記念誌】

発行 ■ 〒368-0072 秩父郡横瀬町大字横瀬4545番地 ☎0494・25・0111(代)